

城崎郡日高町でナガサキアゲハを採集

上田尚志

筆者は、兵庫県城崎郡日高町上ノ郷において、ナガサキアゲハ *Papilio memnon* Linnaeus を採集したので報告する。

1986-V-24.1 ♀〔写真1〕 1986-IX-4.1 ♂〔写真2〕

1986-IX-8.1 ♂ 1986-IX-19.1 ♂

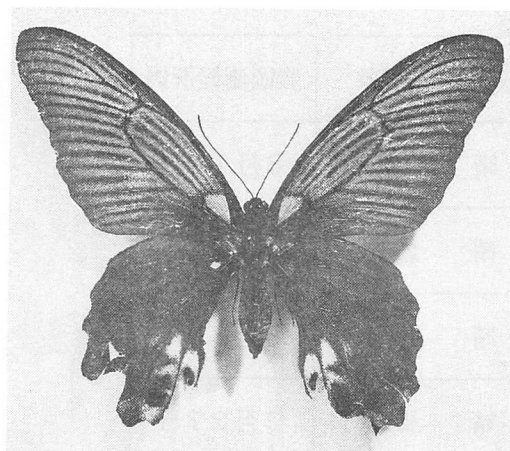


写真1

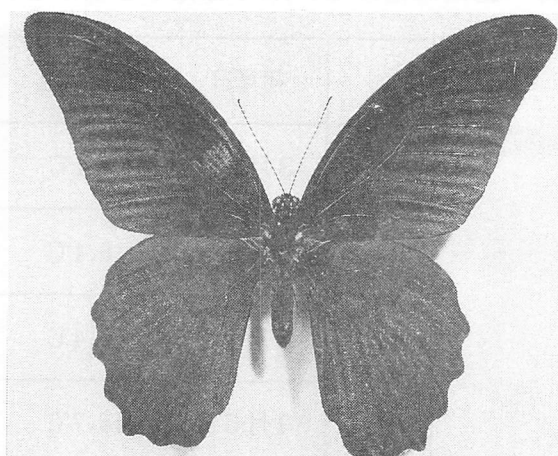


写真2

5月の個体は、道路に沿ってゆっくりと飛翔しているところを採集したもので、全体的にやや破損していた。9、10月の個体は、道路沿いのクサギの花に吸蜜に来ていたもので、すべて♂であった。採集した3個体は羽化後間もないと思われるものであったが、1個体は翅の一部がもぎ取られており、他の1個体は翅の一部が癒着していた。また、同所で10月6日と9日に、1♂ずつを目撃している。

本種は南方系の蝶で、近年急速に分布域を拡大しつつあり注目されている。兵庫県では、1977年に揖保郡御津町室津で大発生して以来、県南部地域一帯に定着、日本海側でも1980年代に入って鳥取市付近まで東進してきている(広畑1980, 1983. 田中1981)。但馬地方では、1982年6月10日、豊岡市百合地において、木下賢司氏によって1♀が目撃されており(未発表)、これが唯一の記録であった。しか

し、1986年になって木下氏が豊岡市内で、前平照雄氏が海岸部一帯で複数個体を目撃されており、本種が近い将来、但馬に定着する可能性もでてきたように思われる。

参考文献

1. 広畑政己（1980）兵庫県のナガサキアゲハ．ひろおび(5):10-17.
2. 広畑政己（1983）兵庫県におけるナガサキアゲハの分布の変遷について．昆虫と自然18(5):18-22.
3. 田中重樹（1981）鳥取市で採集されたナガサキアゲハ．IRATSUME5:76-78.

豊岡市内でナガサキアゲハを目撃

木下賢司

近年、ナガサキアゲハの生息圏拡大のニュースが話題を呼んでいる。姫路市や鳥取市あたりでも定着しているとの報告から、但馬地域でもナガサキアゲハが見られるのも間近なことかと楽しみにしていたところであるが、筆者は豊岡市内で、ナガサキアゲハ1♀を目撃したので報告しておく。

《目撃データ》

1986年10月13日，豊岡市高屋，1♀

同個体は、白斑のかなり発達した♀で、第3化と思われる新鮮なものであった。目撃後約10分間、花壇の中のペチュニアの花で吸蜜を繰り返した後、飛び去った。当日の天候は、晴れであった。